

営農情報

第4号 平成24年9月19日発行

(水稻栽培情報 9月号)

福岡大城農業協同組合
南筑後普及指導センター

1 水稻の成熟期予想

梅雨時期の寡照で、初期生育は遅れていましたが、梅雨明け以降は日照に恵まれたため、水稻の出穂期は平年並でした。出穂以降も天気が良く、平年より気温が高い日が続いています。今後の気温が平年並で推移した場合、成熟期は以下のとおりと予想されます。

品種	今年の出穂期	成熟期予想
元気つくし	8月22～23日	9月27日頃
ヒノヒカリ	8月28～29日	10月7日頃
つやおとめ	9月1～2日	10月15日頃
あきさやか	9月5～6日	10月18日頃
ヒヨクモチ	9月7～8日	10月22日頃

※刈取り適期幅は、成熟期の前4日～後4日程度。

※成熟期とは、黄色い籾が80%程度になった時期、かつ、穂軸の先端から1/3以上が黄化した時期。

※刈取り適期のもみ水分は、28～22%。

2 水稻収穫前の水管理

- (1) 水のためっぱなしは、根痛みを助長するとともに倒伏しやすくなります。また、田面の乾かしすぎは、充実不足等の原因になるので間断かん水を行きましょう。
- (2) 落水時期は、コンバイン収穫に支障のない限り、出来るだけ遅くします。目安として、刈り取りの7～10日前に行います。

特に、晩生品種では落水が早すぎる傾向にあります。落水が早いと、うす茶米や胴割れ米、未熟粒が発生するなど品質（等級）が低下します。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう!